

○ 予防接種後開始後より今回の審議会（9月12日時点、208日間）までに、ファイザー社ワクチン接種後に死亡として報告された1,157例のうち、年齢及び症状の概要に記載された死因等は以下のとおりであった。

<年齢別>

65歳以上 1,037例 [前回 978例]、65歳未満 112例 [前回 91例]、年齢記載なし 8例 [前回 7例]

<症状の概要に記載された死因等（括弧内は65歳未満（内数））>

虚血性心疾患	104例（9例）		
心不全	101例（8例）	静脈血栓症	17例（3例）
肺炎	89例（1例）	溺死	15例（1例）
出血性脳卒中	82例*（18例）	間質性肺疾患	15例（0例）
大動脈疾患	54例（5例）	多臓器機能不全症候群	14例（1例）
虚血性脳卒中	50例（5例）	心タンポナーデ	13例（4例）
敗血症	30例（1例）	血栓症	13例（2例）
老衰	29例（0例）	腎不全	11例（1例）
不整脈	28例（9例）	消化管出血	11例（0例）
窒息	20例（2例）	不明	265例*（26例）
呼吸不全	20例（1例）		

*年齢記載なしの症例について出血性脳卒中は1例、不明は5例を含む。

その他 血小板減少関連疾患、自殺、心筋炎関連事象、発熱、アナフィラキシー、状態悪化、心肺停止、心臓死、心停止、循環虚脱、心突然死等

※1 同一症例に複数の死因等の記載がある場合はいずれも計上している。

※2 系統的に死因等を計上するにあたり、死因等の記載を、対応するMedDRAに再分類の上で計上している。なお、マラスムスは老衰として計上している。

※3 ワクチン接種後、基礎疾患等の悪化により死亡したと考えられる事例については、「状態悪化」として計上した。

※4 上記は、死亡として報告された事例数の1%を超えた11例以上の死因等について記載した。ただし、状態悪化、心肺停止、心臓死及び心停止については、11例以上の報告があるが、具体的な疾患を想起できないものとして「その他」に記載した。

※5 本頁で列挙している症状名等は、死因として確定されていないものも含め、報告書に記載のあった死因と関連する可能性のある全ての症状名等を計上している。そのため、列挙した症状名等はワクチンとの因果関係が示されたものではなく、例えばアナフィラキシーや心筋炎関連事象が原因で死亡したことを意味するものではないことに留意を要する。